

第12回通常総会記録

日 時 昭和56年6月6日 午後1時30分

場 所 富 山 市 農 協 会 館

本研究会の事業も12年目にあたり、その間皆様方から、いろいろのご援助及びご協力を得まして、益々発展の一途をたどっています。

本会の目的の一つは農村の健康管理ということになっており、普通の医学と違い、社会的に問題点が非常に多いと思いますので、会員の方々には各界の専門分野の方々のご協力を得まして、研究を進めていただいているわけです。

尚事業計画にもありますが、各種の事柄に取り組んでおり、今後共更に新しい構想を立て皆様のご期待に添いたいと思います。

現在医療というものの考え方が非常に変わり、先ず第一に健康を基点にして、というふうを考えられます。健康一病気になる時の初期の治療—それから本当の治療—それから社会復帰（リハビリテーション）、この一連の流れが現在医療方面においての考え方です。私共の問題としている「健康」を本会の主なる研究テーマとして皆様方のご協力をいただきたいと思います。疾病の背後には環境があると言われていますが、そのためにも社会学、経済学、生物学、心理学等各方面の学問も混ぜまして、皆様の期待に添うよう前進してます。に添うよう前進しているわけです。

尚、昭和55年度の実績につきましては、本誌第12巻で発表しております。

この度、第12回の通常総会を終了いたしましたので、その内容を御報告申し上げます。本総会は、48名の出席と35名の委任状で定刻に開催され、議事審議もとどこおりに進められ、上市町眼目、立山寺住職、真田智光氏の特別講演を拝聴し無事総会を終了いたしました。

以下総会の議事の概要と、資料を掲載し参考に供します。

議 事 の 概 要

会 員 総 数 150名 うち出席者48名、委任状35名

会 長 挨拶 豊 田 文 一

議 長 選 出 厚生連滑川病院副院長 刑部 侃 議長となる。

議 事 録 署 名 者 滑川市 膳 亀 悠紀雄 井波町 大 浦 栄 次

書 記 高 木 茂、阿 部 修 平

議 事 第1号議案 昭和55年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について

第2号議案 昭和56年度事業計画及び収支予算案承認について

第3号議案 役員改選について

特 別 講 演 元駒沢大学教授 上市町眼目 立山寺住職 真 田 智 光 氏

演 題 「人間学としての仏法と医学」

役 員 名 簿

(昭和56年6月6日現在)

理 事				役 職
氏 名				
豊田文一				富山県農村医学研究所長
本多重雄				県厚生部次長
神 埜 清				県医務課長
沖野清作				県農産普及課長
尾山京三				県公衆衛生課長
中川秀幸				富山保健所長
中田慶子				福野保健所長
渡辺正男				富山医科薬科大学教授
中藤康俊				富山大学助教授
越山健二				上市厚生病院長
石田礼二				富山市民病院長
長谷田祐作				国立療養所富山病院長
寺中正昭				城端厚生病院長
広瀬龍夫				県医師会理事
西能正一郎				西能整形外科病院長
北川鉄人				北川内科クリニック院長
広島清一				厚生連高岡病院長
一柳兵蔵				厚生連滑川病院長
館野政也				県立中央病院産婦人科部長
山口光弘				県厚生連会長
木沢慶策				県農協中央会副会長
水野甚之助				県農協青年組織協議会長
竹部喜代子				県農協婦人組織協議会長
跡治順子				県経済連生活店舗指導課長補佐兼生活指導係長
豊本清美				高岡市農協生活指導班長
監 事				
林 脩				厚生連高岡看護専門学校長
岡 西 一 英				高岡市農林部長
顧 問				
中 沖 豊				富山県知事
堀 健 治				〃 市会長
浅 名 源 重				〃 町村会長
本 多 幸 男				〃 医師会長
三 橋 昭 男				〃 厚生部長
西 本 力 蔵				〃 農業水産部長
松 井 信 勝				〃 農協中央会長
滝 田 金 蔵				〃 信連会長
南 日 淳 夫				〃 経済連会長
河 合 勇 三 郎				〃 共済連会長

富山県農村医学研究会

昭和55年度 収 支 決 算 書

自 昭和55年 4 月 1 日 ～ 至 昭和56年 3 月31日

(単位:円)

項	目	予 算 額	実 績	差 引 増 減
会 費 収 入		76,500	69,000	△ 7,500
	会 費	76,500	69,000	△ 7,500
援 助 収 入		5,200,000	5,200,000	0
	助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
	特 別 負 担 金	3,400,000	3,400,000	0
雑 収 入		22,578	80,458	57,880
	雑 収 入	22,578	80,458	57,880
前 期 繰 越		40,922	40,922	0
収 入 計		5,340,000	5,390,380	50,380
会 議 費		864,000	797,902	△ 66,098
	総 会 費	160,000	131,722	△ 28,278
	役 員 会 費	504,000	446,610	△ 57,390
	専 門 委 員 会 費	100,000	94,540	△ 5,460
	編 集 委 員 会 費	100,000	125,030	25,030
事 業 費		4,191,000	4,267,610	76,610
	研 究 調 査 費	2,051,000	2,136,310	85,310
	研 究 集 会 費	160,000	160,000	0
	会 誌 発 行 費	1,900,000	1,900,000	0
	通 信 費	50,000	47,500	△ 2,500
	消 耗 品 費	20,000	23,800	3,800
	備 品 ・ 什 器	10,000	0	△ 10,000
旅 費 交 通 費		150,000	143,620	△ 6,380
	旅 費 交 通 費	150,000	143,620	△ 6,380
事 務 費		120,000	120,000	0
	事 務 費	120,000	120,000	0
雑 費		10,000	20,300	10,300
	雑 費	10,000	20,300	10,300
予 備 費		5,000	0	△ 5,000
	予 備 費	5,000	0	△ 5,000
計		5,340,000	5,349,432	9,432
次 期 繰 越			40,948	40,948
支 出 計		5,340,000	5,390,380	50,380

昭和56年度事業計画

昭和56年4月1日～昭和57年3月31日

① 事業方針

富山県内の農山村の実態を医学的に医療と保健に関するすべての問題を調査研究し、明るい健康な村づくりに寄与する。

② 運営にかかる事業計画

事業内容

1. 農村の職業性疾患の調査研究

農村の地域環境の特殊性に起因する健康障害の調査研究

2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する研究及び農業機械による災害の実態調査

3. 健康管理についての調査研究

農民の健康状態の把握と保健指導

農民の健康管理の調査研究

農民の成人病実態調査とその対策に関する検討

農村における高齢者の健康調査

4. 農民の健康会議の実施

5. 農村の特殊疾患の調査研究

伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

6. 農村における社会医学的研究

社会環境の変動による農民の健康に及ぼす影響についての調査研究、都市近郊農村の社会医学的研究

7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

8. 乳幼児ならびに学童に対する健康対策

9. その他目的達成に必要な事項

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村民の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データー収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪 2 番 21 号 富山県厚生連内）

投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostaglandin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 *Mocacus rhesus*, 山椒藻 *Salvinabatah* 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m、センチメートル cm、グラム g、キログラム kg 等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cm に製版しますから、その 2 倍か 3 倍に書いて下さい。）図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙 20 枚（刷上がり 5 頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり 15 頁を限度とし長篇の論文を 5 頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合 著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52. 5 のごとく）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷 30 部までは無料で投稿者に進呈、30 部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学研究会誌第13巻が会員各位の調査、研究、報告などをもとにおとどけする事が出来た。糖尿病と肝機能の研究は昨年に引き続いて継続されたものである。第8回国際農村医学会が、仏国のアビニョンで行われ、当学会から2題の発表があり、掲載させて戴いた。そのほかいつもながら各専門分野からの研究がよせられ、多彩な内容となった。生活環境の変化に伴って、地下水やみそ汁、農機具、ひまん等についての調査も行われ、この研究会誌の特徴が示された。又高岡や入善などに於ける健康管理活動報告は、その緒についたばかりだとも思われるが、地域に深く根付いた組織化の中で健康増進がはかられる実況が報告され貴重なものであり、今後一層の内容の充実とその推移に期待したいものである。

高度経済成長の時代は終わり、米をはじめ農産物は世界的な視野できびしく論ぜられている。医療も又疾病の診断治療の時代から、予防や保健の重要性が指摘されている。第13巻はその意味からも充分こたえておりユニークなものと自負している。 (K.K)

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第13巻 昭和57年3月25日印刷・昭和57年3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電 話 富山 (0764) 45-2307
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩 井 久 作
印 刷 所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
